

クラス番号	629	担当教員名	北村育子
テーマ	高齢者とその家族をとりまく社会的背景を理解しその総合的な支援について考える		
著書・論文 研究課題等	研究課題：高齢者介護サービスの提供（認知症ケア、施設や在宅介護事業所における看取りの提供、など）に関すること		

ゼミナール概要

キーワード：高齢者、高齢者家族、社会的背景の理解、多様なニーズ

目的・内容：ソーシャルワークは、環境のなかの人に焦点をあてますが、環境は常に変化しています。少子高齢化、女性の社会進出、国際化、等々社会的な背景が、高齢者を取り巻く環境にも当然ながら影響を及ぼします。たとえば、女性の出産年齢が上がることで、子育てと親の介護が同時期にやってくることも珍しくなくなっています。福祉制度や医療が充実したことで、障害者も長寿を享受できるようになりました。日本で就労する外国人に同伴して言葉もわからないまま暮らしている高齢者もいるでしょう。また長年日本社会に貢献したそれらの人々自身の今後の幸福も考えなければならぬのではないのでしょうか。日本の社会が、誰でも自己実現をはかっていることのできる社会になるように、ソーシャルワーカーは尽力しなければなりません。高齢者とその家族は、介護保険のサービス以外にもさまざまな支援を必要としているはずであり、児童や障害をはじめ、どのような分野で実践を行うにせよ、高齢者とその家族の支援に必要な知識とスキルを身に着けることは、すべてのソーシャルワーカーに必要なことだと考えています。このゼミでは、社会的背景を踏まえて、高齢者とその家族が直面する課題について考え、課題解決の糸口を探ることを目的とします。

方法・授業計画：前期は、高齢者とその家族をとりまく環境、社会的背景について、理解することに努めたいと思います。ゼミ生は、日本の社会の現状について、また戦後の社会の変化の過程について、積極的に調べ、ゼミで報告してください。社会の変化に関心のある方の参加を希望します。また、日本は他の国々や地域と無縁に鎖国状態で存在することはできませんから、世界のなかの日本という視点も必要です。地理や歴史、言語や文化、などに関心のある方は、大歓迎です。そして後期は、卒業研究のテーマを絞り込んでいくことを目指します。ただし、地理や歴史を学ぶこと自体が目的ではもちろんなく、それはソーシャルワークにおいてクライアントを取り巻く環境理解の一環です。それらの理解を通して、高齢者とその家族の抱える課題に気づき、明確化することで、卒業研究のテーマがだんだんと見えてくるはずです。

担当教員からのメッセージ

ゼミでは、卒論執筆を念頭に、ゼミ生が自分の関心に気づくことができるよう、支援したいと思います。ゼミのテーマは、あくまでもソーシャルワーク実践にあります。授業中は、グループダイナミクスに関心を払ってください。互いに協力し合うことで、良いゼミが形成されるよう願っています。ゼミは、親しい仲間ができる場ですが、卒業論文の執筆は、各自が個別に取り組まざるを得ません。ゼミに出席していればなんとかなるというものではないこと、3年後期に実習に行く場合は、前期の取り組みが非常に重要であることを自覚してください。